

徙シ、上杉景勝ニ賜フ、關原役畢リ、徳川氏景勝ノ封ヲ削リ、僅ニ米澤ヲ賜ヒ、小野寺義道ノ地ヲ

收メ、秋田六郷戸澤等ノ封ヲ徙シ、莊内三郡及仙北ヲ以テ義光ニ加賜シ、佐竹義宣ヲ秋田又久保田

ト稱ニ徙封シ、六郡ヲ領セシム、元和中、最上氏ノ地ヲ削テ近江ニ徙シ、山形ヲ以テ鳥居忠政ニ

賜ヒ、後易封數氏、最後ニ水野忠精ヲ封ズ、酒井忠勝ヲ鶴岡、六郷政乘ヲ本莊、戸澤政盛ヲ新莊、岩城吉隆ヲ龜田ニ

封ズ、其後前後封ヲ受ル者、カシノ、初松平重忠、高島織田信浮、後オカ、米津通政、武藏トナス、上杉、佐

竹、酒井支封各一、米澤、上杉綱憲ノ第三子勝周、秋田、佐竹義隆ノ第二子酒井忠勝ノ凡テ十三

藩、明治紀元、米澤、上杉憲忠、酒井上信庸、等、皆若松藩ノ黨、援タルヲ以テ削封差アリ、全州ヲ分

テ羽前羽後ノ二州トス、羽前八藩、米澤、鶴岡、山形、新莊、上、鶴岡、若松ニ徙シ、尋テ復封シテ大

泉ト稱ス、長瀨藩ヲ上總ノ大網ニ徙シ、尋テ常陸ノ龍崎ニ徙ル、山形藩亦近江ニ從リ、山形縣ヲ置、既ニシテ

皆廢シテ縣ト爲シ、更ニ合併シテ山形置賜二縣ヲ置、

羽後五藩、秋田、松山、本莊、岩崎、龜田、矢島ノ生駒親敬新ニ藩屏ニ列シ、松山ヲ改テ松嶺ト稱シ、凡テ六藩、既ニ

シテ皆廢シテ縣ト爲シ、又合併シテ秋田酒田二縣ヲ置、

〔續日本紀元明〕和銅五年九月己丑、太政官議奏曰、建國辟疆、武功所貴、設官撫民、文教所崇、其北海道蝦

狄、遠憑阻險、實縱狂心、屢驚邊境、自官軍雷擊、凶賊霧消、狄部晏然、皇民無擾、誠望便乘時機、遂置一國、

式樹司宰、永鎮百姓、奏可之、於是始置出羽國、

〔日本書紀二十六〕元年七月己卯、於難波朝饗、北越蝦夷九十九人、東陸蝦夷九十五人、并設百濟

調使一百五十人、仍授柵養蝦夷九人、津刈蝦夷六人、冠各二階、

〔古事記傳二十七〕北、蝦夷とは越國に在者、東、蝦夷とは陸奥に在者を云、さるは越國にも、陸奥の

如く、北邊には蝦夷渡來て、多く居住りしなり、越、北邊とは出羽國の地なり、○中されば越蝦夷

と云は、出羽の地に在し者を云なり、